



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社ニチリン

上場取引所 東

コード番号 5184 URL <https://www.nichirin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 前田 龍一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務経理部長 (氏名) 難波 宏成

TEL 079-252-4151

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	35,809	21.7	2,436	50.4	2,492	49.5	1,371	40.1
2019年12月期第3四半期	45,762	1.0	4,913	21.9	4,937	23.3	2,290	35.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 592百万円 (74.3%) 2019年12月期第3四半期 2,304百万円 (43.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	96.34	
2019年12月期第3四半期	159.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	56,031	38,556	60.1	2,363.47
2019年12月期	60,326	39,869	56.0	2,377.03

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 33,666百万円 2019年12月期 33,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		30.00		30.00	60.00
2020年12月期		15.00			
2020年12月期(予想)				30.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	18.1	3,700	40.5	3,800	39.1	2,100	23.6	147.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	14,371,500 株	2019年12月期	14,371,500 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	126,784 株	2019年12月期	150,246 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	14,232,623 株	2019年12月期3Q	14,354,667 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)における世界経済は、年初に中国で発生した新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)が世界各国へと広がるとともに、各国経済にも深刻な影響を及ぼすこととなりました。中国では4月以降、その他諸国では6月以降、経済活動に回復が見られますが、引き続き第2波の到来が懸念されております。

米国においては、新型コロナの影響を受け、3月末から雇用・所得環境は悪化、さらに感染防止のための外出制限が個人消費を下押ししました。また、サプライチェーンの寸断や、ロックダウンによる操業停止等により企業収益も急速に悪化しました。6月から段階的な経済活動再開が進められ、個人消費、企業収益にも回復が見られますが、感染の再拡大が懸念される等、先行きは不透明な状況にあります。

欧州においては、3月初めよりイタリアで新型コロナの感染が広がり、その後、スペインやドイツ等の主要国にも感染が拡大しました。多くの国で厳格なロックダウンが行われた結果、感染は一時収束し経済活動も再開されていましたが、再び感染が拡大する地域もあり影響が懸念されています。また、Brexit後の英国・EU間の貿易協定については未だ進展がなく、今後の対応が注目されています。

中国においては、年初から新型コロナの感染が国内全域に拡大し、政府主導にて市民の移動制限、工場の生産停止や店舗の営業停止を実施したことで、経済活動は大きく制限されました。4月以降、新規感染者は大幅に減少し経済活動が再開されており、自動車販売については、政府による補助金やナンバープレート規制の緩和もあり急回復しております。

アセアン地域においては、新型コロナ対策として、当初、外国人の入国制限を行いました。国内の感染を抑えきれず、4月以降は、他のセグメント同様に経済活動は制限されており、景気の回復も遅れている状況です。

日本経済においても、新型コロナの影響を受け1月からインバウンド需要が落ち込み、3月には外出を自粛する動きも加わりました。4月中旬には、政府による緊急事態宣言が出され、特別定額給付金、持続化給付金、雇用調整助成金の特例措置等、大規模な新型コロナ対策が実施されました。5月中旬以降、宣言が解除され、段階的に経済活動も回復していますが、海外輸出の回復に比べ、個人消費は緩やかな回復に留まっています。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界に関する状況は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間における国内自動車市場は、国内販売は3月以降、新型コロナによる外出を自粛する動きが影響し各社で減少することとなりました。海外需要に伴う完成車輸出もメーカーによって差はあるものの、大きく減少しております。国内生産全体も、当初は中国からの部品供給が不安定であることを理由とした減産が目立ちましたが、4月以降は本格的な需要減が織り込まれ、さらに深刻なものとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における国内乗用車メーカー8社の国内四輪車販売台数は、前年同四半期比17.9%減の308万台、四輪車輸出台数は、前年同四半期比28.4%減の245万台となり、国内四輪車生産台数は、前年同四半期比22.4%減の544万台となりました。また、海外生産台数も、中国では4月から急速な回復、北米、欧州でも6月から回復が始まっているものの、前年同四半期比26.3%減の1,030万台となりました。

このような環境のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は35,809百万円(前年同四半期45,762百万円)、営業利益は2,436百万円(前年同四半期4,913百万円)、経常利益は2,492百万円(前年同四半期4,937百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,371百万円(前年同四半期2,290百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

新型コロナに伴う、著しい需要の減少により、国内顧客は減産を継続しており、また、海外子会社への部品供給も大幅に減少しております。さらに、子会社向けの設備売上も前年に比べ大きく減少しており、売上高は18,372百万円(前年同四半期24,831百万円)、需要に合わせて出勤日の調整や経費の削減に努めておりますが、営業利益は273百万円(前年同四半期1,653百万円)となりました。

② 北米

北米市場は、日系企業が得意としてきたセダン車の需要が減少し、小型トラック・SUV車の需要が増加する傾向が強まっており、さらに、新型コロナによる影響で3月下旬より5月下旬にかけ顧客が一斉に生産停止を行いました。6月から段階的に顧客需要が戻りつつありますが、売上高は6,240百万円(前年同四半期7,795百万円)、一方、生産性改善による要員の削減、物流費の削減、中国追加関税回避のための仕入先変更により、営業利益は59百万円(前年同四半期は営業損失70百万円)となりました。

③ 中国

中国市場では、新型コロナによる影響で2月上旬より顧客が一斉に生産停止を行いました。4月以降は順調な回復となっており、売上高は6,960百万円(前年同四半期8,178百万円)、また、昨年末に生産を終了した上海日輪汽车配件有限公司から蘇州日輪汽車部件有限公司への業務移管に伴い、第1四半期では一時的な生産性の悪化があったものの、4月以降は改善が進められており、営業利益は338百万円(前年同四半期は営業利益760百万円)となりました。

④ アジア

アジア市場では、ABS化による二輪用ブレーキホースの販売増に加え、フューエルホースの販売増が見込まれていましたが、新型コロナによる影響で4月以降の売上に落ち込みが見られ、売上高は9,400百万円（前年同四半期12,660百万円）、営業利益は1,714百万円（前年同四半期2,786百万円）となりました。

⑤ 欧州

欧州市場では、新型コロナによる影響で3月下旬より5月下旬にかけ顧客が一斉に生産停止を行ったこと、さらに6月からの顧客需要にもバラつきがあることにより、売上高は3,319百万円（前年同四半期3,873百万円）、営業損失は242百万円（前年同四半期は営業損失104百万円）となりました。なお、欧州域内での自動車メーカー再編の動きに呼応し、ニチリン ユー・ケー・リミテッドは、ニチリン スペイン エス・エルをはじめとするグループ各社に生産を移管し、8月末にて同社の生産を停止しております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主要な取引先である自動車メーカーは、上半期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたものの、各国の経済活動の再開や景気刺激策などにより当初想定よりも早く回復しており、いち早くコロナ禍の影響を脱した中国をはじめ、北米の自動車販売も緩やかな回復が継続するものと予想しております。しかしながら、世界経済の先行きについては、欧州、アジアでは感染の再拡大により経済活動の再制限が始まっており、依然として不透明な状況にあります。

このような状況ではありますが、受注は堅調に推移し、利益面においても、ニチリングループ間で生産の補完体制を構築するとともに、中国・欧州でのスムーズな生産移管による収益向上への取組や生産性の改善を迅速に実施した効果が現れていることから、売上高、利益とも前回発表の予想を上回る見込みとなりましたので、通期連結業績予想を修正しております。

(通期連結業績予想)

売上高	50,000 百万円	(前回予想	49,000 百万円	前期実績	61,073 百万円)
営業利益	3,700 百万円	(前回予想	2,400 百万円	前期実績	6,219 百万円)
経常利益	3,800 百万円	(前回予想	2,600 百万円	前期実績	6,243 百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,100 百万円	(前回予想	1,450 百万円	前期実績	2,748 百万円)

為替レートについては、第4四半期以降、1US\$=105円の設定としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,754	10,880
受取手形及び売掛金	9,378	9,496
電子記録債権	1,728	1,164
商品及び製品	3,084	2,844
仕掛品	2,896	3,132
原材料及び貯蔵品	2,451	2,307
デリバティブ債権	0	-
その他	2,175	1,965
貸倒引当金	△78	△109
流動資産合計	35,390	31,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,352	13,728
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,377	△6,676
建物及び構築物 (純額)	6,975	7,052
機械装置及び運搬具	22,206	21,902
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,178	△14,825
機械装置及び運搬具 (純額)	7,027	7,077
土地	3,576	3,561
建設仮勘定	1,516	1,312
その他	4,343	4,264
減価償却累計額	△3,009	△3,051
その他 (純額)	1,334	1,212
有形固定資産合計	20,429	20,215
無形固定資産		
顧客関連資産	317	253
のれん	39	-
その他	369	332
無形固定資産合計	727	586
投資その他の資産		
投資有価証券	2,802	2,572
繰延税金資産	404	450
その他	573	525
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	3,779	3,546
固定資産合計	24,935	24,348
資産合計	60,326	56,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,921	4,776
電子記録債務	3,616	1,984
短期借入金	399	832
1年内返済予定の長期借入金	624	737
未払法人税等	691	269
賞与引当金	149	404
デリバティブ債務	2	0
その他	3,053	2,165
流動負債合計	14,459	11,170
固定負債		
長期借入金	1,103	1,678
再評価に係る繰延税金負債	787	787
繰延税金負債	423	136
役員退職慰労引当金	7	9
退職給付に係る負債	3,208	3,261
その他	467	430
固定負債合計	5,998	6,304
負債合計	20,457	17,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,158	2,158
資本剰余金	2,012	2,001
利益剰余金	27,454	28,185
自己株式	△257	△216
株主資本合計	31,367	32,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,161	990
土地再評価差額金	1,786	1,786
為替換算調整勘定	△462	△1,202
退職給付に係る調整累計額	△49	△35
その他の包括利益累計額合計	2,436	1,539
非支配株主持分	6,064	4,889
純資産合計	39,869	38,556
負債純資産合計	60,326	56,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	45,762	35,809
売上原価	35,390	28,609
売上総利益	10,371	7,199
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,204	998
貸倒引当金繰入額	7	18
役員報酬	239	208
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
給料及び手当	1,561	1,456
賞与引当金繰入額	199	96
退職給付費用	65	74
法定福利費	264	212
旅費及び交通費	249	84
租税公課	126	100
賃借料	116	150
減価償却費	163	213
のれん償却額	39	38
その他	1,218	1,110
販売費及び一般管理費合計	5,457	4,763
営業利益	4,913	2,436
営業外収益		
受取利息	77	53
受取配当金	52	41
受取賃貸料	24	28
持分法による投資利益	1	-
助成金収入	-	98
その他	81	104
営業外収益合計	237	326
営業外費用		
支払利息	16	38
為替差損	146	177
持分法による投資損失	-	3
その他	50	50
営業外費用合計	214	269
経常利益	4,937	2,492
特別利益		
固定資産売却益	72	9
その他	4	-
特別利益合計	77	9
特別損失		
固定資産売却損	1	6
固定資産除却損	43	9
固定資産減損損失	60	-
災害による損失	-	77
特別退職金	763	-
特別損失合計	868	93
税金等調整前四半期純利益	4,146	2,407
法人税、住民税及び事業税	1,362	803
法人税等調整額	△363	△297
法人税等合計	999	505
四半期純利益	3,146	1,901
非支配株主に帰属する四半期純利益	855	530
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,290	1,371

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,146	1,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△170
為替換算調整勘定	△810	△1,151
退職給付に係る調整額	30	13
その他の包括利益合計	△841	△1,308
四半期包括利益	2,304	592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,500	473
非支配株主に係る四半期包括利益	804	119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの影響)

当社グループの主要な取引先である自動車メーカーは、上半期は新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）拡大の影響を大きく受けたものの、各国の経済活動の再開や景気刺激策などにより当初想定よりも早く回復しており、いち早くコロナ禍の影響を脱した中国をはじめ、北米の自動車販売も緩やかな回復が継続しています。

当社グループでも、北米および中国においては、受注の回復が堅調に推移し、利益面でもグループ間での生産の補完対応や生産性の改善を迅速に実施したことにより、第2四半期累計期間の営業損失から当第3四半期累計期間では営業利益へと改善しております。一方、欧州では経済活動再開も顧客による需要のばらつきがあることや、アジアにおいて回復は第4四半期以降になること、また、日本においても緩慢な回復に留まることが見込まれています。

このような状況から通期の連結売上高は50,000百万円、営業利益は3,700百万円、経常利益は3,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,100百万円となる見通しを前提として、繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損等の会計上の見積りにおいてその影響を考慮しております。

しかしながら、新型コロナによる影響は不確定要素が多いことから、将来の財務諸表に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への 売上高	15,627	7,764	7,010	11,498	3,860	45,762	—	45,762
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,204	30	1,168	1,161	13	11,577	△11,577	—
計	24,831	7,795	8,178	12,660	3,873	57,340	△11,577	45,762
セグメント利益 又は損失(△)	1,653	△70	760	2,786	△104	5,024	△111	4,913

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△111百万円には、セグメント間の未実現損益△104百万円、セグメント間取引消去△7百万円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への 売上高	11,977	6,228	6,326	8,131	3,145	35,809	—	35,809
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,395	12	633	1,269	174	8,484	△8,484	—
計	18,372	6,240	6,960	9,400	3,319	44,293	△8,484	35,809
セグメント利益 又は損失(△)	273	59	338	1,714	△242	2,142	293	2,436

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額293百万円には、セグメント間の未実現損益207百万円、セグメント間取引消去85百万円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。